

# 校長室からのお知らせ

11月15日号 NO.27

岸和田市立浜小学校  
校長 尾野 武志

## いきなり冬に

秋を感じることなく、いきなり冬になったような気がしています。過ごしやすくなったと思う暇もなく、朝晩は寒いと感じています。このままでは、日本には夏と冬しか来ないのではないかと、一人心配しています。

少し調べてみますと、恐ろしい予想がされています。

8月は、40度超えの日が続き、砂浜は熱くて歩けなくなるので、海水浴ができなくなる。

9月は、暑さが収まらないうえに、スーパー台風が何度も上陸する。外で運動はできないので、「運動の秋」という言葉が使えなくなる。

10月になって、やっと30度以下になると、蚊が羽化してブンブン飛び回る。暖かい海が嫌いなサンマが獲れなくなり、秋の味覚も次々食べられなくなる。

11月は、紅葉が一瞬だけ見られ、少し葉が色づいてきたなと思ったころには、大雪が降って葉っぱが落ちてしまう。

12月から1月は、大寒波が到来し、雪の降りやすい地域は大雪に、そうでないところでも雪害が起こるようになる。

すべてが現実になるとは思っていませんし、現実になってほしくありませんが、実際に10月になってから職員室や校長室で蚊に刺される職員が多数いたのは、本当の話です。私自身が今年、サンマの塩焼きを一度も食べていないのも、本当です。

「四季の国 日本」が「二季の国 日本」になってほしくありませんが、できましたらお子様に季節を感じる食べ物や風景、行事などをできるだけ経験させていただきたいと思います。

